

# 学校だより

NO. 1

〒098-2501  
北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1

電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838

e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.otoineppu-h.ed.jp/

## 『夢を語り感動があふれる 学校づくり』を目指して

校長 池原 智宏



音威子府の地にも駆け足でやってきた春が、残雪を溶かし鮮緑の映える季節となりました。学校は、4月9日に新入生37名を全国、全道から迎え、生徒総数110名で令和4年度をスタートいたしました。年度当初の諸行事は、今年も新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対策を講じながら縮小や変更の工夫を行い無事に終了し、生徒たちも落ち着きのある良い状況にあります。このことは、生徒の自覚はもとより御家庭の協力のおかげと感謝しております。

さて、2年目の校長として新年度のスタートにあたって学校経営方針として、「夢を語り感動あふれる学校づくり」を掲げております。全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおして質の高い教育活動の推進をして参ります。また、経営方針を実践していくにあたり、次の2点を学校経営の重点として掲げております。

そのひとつは、生徒が学び、成長する場となる学校づくりの推進であります。学校の大きな目的は、生徒に確かな学力を身につけさせることですが、最近の生徒は「基礎学力不足」などと云われています。この高校時代に基礎的な知識と学ぶ習慣をしっかりと身につけさせることが必要です。従って、より一層のきめ細やかな指導をすすめるための指導体制を強化するとともに、生徒には学ぶことを厳しく迫る所存です。また、学び力をつけることは、自分の夢の実現に幅を持たせられることとなります。是非、自分の将来の夢の実現のために、より一層の努力をお願いします。夢を大いに語り、それを実現させることを心から期待しています。

二つめは、「ものづくり」を通じた人づくりです。それは人間性・創造性を高める教育です。工芸、美術の技術・技能を日々磨き、創作活動に全力で望んでください。そうすれば、ものづくりを通して「信頼される人」づくりができ、創作活動を通して「豊かな心」そして「創造力」

がきっと身につくことと信じております。そして、自分の進むべき道がきっと見えてくる事でしょう。

以上の二つを、今年度の柱として学校運営をすすめていきたいと考えておりますので、御理解と御協力を宜しくお願いいたします。

6月には、それまでの学習活動の成果が試される中間試験(6月15日~17日)がはじまります。試験までの授業を大切にするとともに、万全の準備をすすめてほしいと思います。

また、1年生は宿泊研修、2年生は美術・工芸の選択科目の開始、3年生は人生の岐路ともなる進路決定という大きな課題があります。

どうか、それぞれの課題にむけて全力をあげて取り組ませ、大きな成果をあげる一年間となるように、学校・家庭が一体となって頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

## ●新たに4名の教職員を迎え、 新年度スタート

今年度、新たに4名の教職員を迎え、「おと高」の教育活動がスタートしました。

これまでの経験を生かし、チーム「おと高」の一員として魅力あふれる学校づくりを進めていきたいと意気込んでいる4名の教職員を紹介します。

教頭 村上俊樹

この度の異動で、北海道立教育研究所研究部から教頭として着任いたしました。しばらく学校現場を離れて仕事をしておりましたので、久しぶりの学校勤務はとても新鮮であり、毎日が充実しています。



本校の多目的ホールには、3月に本校を巣立った3年生の皆さんが制作した作品が展示されています。一つ一つの作品を鑑賞するとともに、制作に取り組んだ過程を足跡として残した「卒業制作Portfolio」を拝見しました。

作品やPortfolioからにじみ出る「おと高生」の思いにふれ、素晴らしい学校に勤務することができる喜びをかみしめています。

広大な自然に恵まれた音威子府村で、先生方や地域の皆様に支えられながら、日々の学習に主体的に取り組み、感性を磨き続ける「おと高

生」が安心して学習活動に取り組み、安全に過ごすことのできる環境をつくっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 安喰行舟

この度、滝川工業高等学校から着任いたしました。専門教科は理科です。私が理科教員として心がけていることは、理科を好きになってもらうこと、理科嫌いをつくらないことです。好きになってもらえば、もっと知りたいと自分で学ぶことが出来るし、理科に携わる人が増え、世界を豊かにしてくれる人を1人でも増やすことが出来ると思うからです。



わたしは美深町出身で音威子府村の隣の町で育ちました。この、おといねっぴ美術工芸高等学校が他の学校にはない独特な取組をしていることは、学生時代から知っていました。また教員時代にもこの学校の取組をテレビや新聞で観ることがありました。まだ赴任したばかりですが、生徒の皆さんが、地方からそれぞれ覚悟をもって「おと高」に入学し、有意義な学校生活を送っていることが伝わってきます。

その生徒たちの為に、精一杯仕事に取り組みたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

養護教諭 石沢寛悟

この4月に新採用として着任いたしました。以前より期限付き職員として働いておりましたので、本校での勤務は3年目となります。

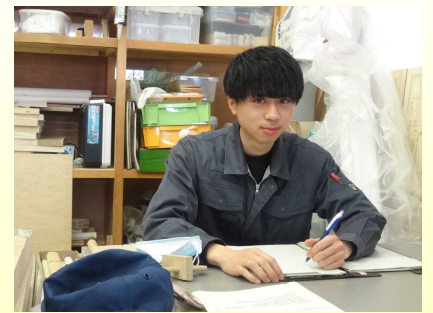


はじめは「子どもたちは男性の養護教諭を嫌がらないだろうか」と心配しておりましたが、そんな様子はみられず、今となっては「保健室の石沢先生」として定着したようで、うれしく思っています。

常に優しく、時に厳しく、いつなんどきも子どもたちに寄り添う養護教諭であるとともに、気軽に相談できる保健室づくりを目指していきます。また、学校保健をとおして地域の健康増進にも貢献したいと考えておりますので、保護者の皆様、地域の皆様にご協力願うこともあるかと思えます。その際にはお力添えいただくと幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。

実習助手 川村謙太

4月から実習助手として着任致しました。工芸の授業に関わらせて頂きます。私は本校の卒業生でもあり、新入生の皆さんを見ていると当時の期待や不安が入り混じった気持ちを思い出し、懐かしく感じます。正直母校に戻ることはないとは思っていませんでしたが、とても良いご縁を頂いたと感謝しております。また、これまでとは全く異なる仕事をしていたので、初めての事ばかりでご迷惑をお掛けする事もあると思いますが生徒の皆さんの力になれるよう一生懸命頑張ります。保護者の皆さん、村民の皆さんこれから様々な形でお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



## ●おと高 Story

### ＜着任式・始業式＞

年度末・年度始休業中は、大きな事故や怪我もなく、2、3年生全員が7日に帰寮し、8日に着任式、始業式が行われました。感染症対策のため、今年度も着任者が各教室を回っての着任式、校内放送による始業式となりました。



### ＜入学式＞

保護者の皆様のご出席のもと、第37回入学式が挙行されました。真新しい制服に身をつつみ、緊張した面持ちで入場する37名の新入生。呼名後、校長先生から入学を許可されると、親元を離れ、音威子府村で生活する事への期待に胸をふくらませるとともに、「おと高生」としての誓いを新たにしていました。



### 子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなどを相談してください。

●電話相談 ☎ 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来庁相談 子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話番号で予約してください。

(10~18時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)